

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【公開番号】特開 2017-14655 (P2017-14655A)
 【公開日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-003
 【出願番号】特願 2015-131770 (P2015-131770)
 【国際特許分類】

D 2 1 H 27/00 (2006.01)

D 2 1 H 19/34 (2006.01)

D 2 1 H 27/30 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 27/00 Z

D 2 1 H 19/34

D 2 1 H 27/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 19 日 (2017.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するために、請求項 1 記載の発明の水溶性シートは、
 パルプ及び水溶性バインダーを含有する実質的に水分散可能な複数プライの原紙シート
 に水性薬剤が含浸されており、

複数プライの目付が 30 ~ 150 g s m であり、

縦横の繊維配向の比率（縦 / 横）が 0.8 ~ 2.0 であり、

膨出部が曲面である第 1 の凸部と、前記第 1 の凸部の周囲に配置され膨出部が平面であ
 る第 2 の凸部と、を全面に形成するとともに、前記第 1 の凸部及び前記第 2 の凸部の各膨
 出部を同一面側に形成し、

学振子として P P バンドを用いた学振型摩擦堅牢度試験機による耐摩耗性試験を M D 方
 向、C D 方向で各 3 回実施し、それぞれ各 3 回の測定値の平均を算出し、それぞれの平均
 値が 40 回以上であり、

かつ、カンチレバー法による剛軟性試験を各 3 回実施し、各 3 回の測定値の平均を算出
 し、平均値が 33 mm 以下であることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パルプ及び水溶性バインダーを含有する実質的に水分散可能な複数プライの原紙シート
 に水性薬剤が含浸されており、

複数プライの目付が 30 ~ 150 g s m であり、

縦横の繊維配向の比率（縦 / 横）が 0.8 ~ 2.0 であり、

膨出部が曲面である第 1 の凸部と、前記第 1 の凸部の周囲に配置され膨出部が平面であ

る第 2 の凸部と、を全面に形成するとともに、前記第 1 の凸部及び前記第 2 の凸部の各膨出部を同一面側に形成し、

学振子として P P バンドを用いた学振型摩擦堅牢度試験機による耐摩耗性試験を M D 方向、C D 方向で各 3 回実施し、それぞれ各 3 回の測定値の平均を算出し、それぞれの平均値が 4 0 回以上であり、

かつ、カンチレバー法による剛軟性試験を各 3 回実施し、各 3 回の測定値の平均を算出し、平均値が 3 3 m m 以下であることを特徴とする水解性シート。

【請求項 2】

前記耐摩耗性試験における前記平均値が、M D 方向で 4 5 回以上、C D 方向で 5 0 回以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の水解性シート。

【請求項 3】

表面及び / 又は裏面に向かうにつれて前記水溶性バインダーの含有量が増加した状態であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の水解性シート。